

平成29年度 第1回土佐清水市地域公共交通協議会・
土佐清水市有償運送運営協議会 総会 会議録

日時：平成29年6月23日（金） 14時00分～16時00分

場所：土佐清水市役所2階 第1会議室

出席者：別紙のとおり

事務局：企画財政課長補佐 山下育、政策企画係長 公文麻衣、政策企画係主幹 中山 剛

会議概要（要約）

【総会の成立】

「土佐清水市地域公共交通協議会規約第12条第2項ならびに土佐清水市有償運送運営協議会設置要綱第5条第4項」の規定により、委員の2/3以上の出席が必要。委員の数は18名、その2/3は12名。本日の出席委員数は14名であり、両総会が成立していることを報告。

【承認事項】

- (1) 土佐清水市地域公共交通協議会規約及び土佐清水市有償運送運営協議会設置要綱の改正について【承認事項】

⇒意見・質問なく 『承認』

- (7) 土佐清水市地域公共交通網形成計画の策定について【承認事項】

⇒意見・質問なく 『承認』

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（小松邦彦委員）全国的に人口減少している状況である。特に地方においては少子高齢化が著しく人口減少の問題から生活路線（高知西南交通）の効率化を図った見直しを検討する予定である。

（程岡庸委員）スクールバスの経費が大きくなっているが、定期券の方が経費を抑えることができるのではないか。

⇒（泥谷会長）定期券の方が経費を抑えることができるが、学校を統合するときにスクールバスを出すという約束があるので現在に至っている。ただし、経費が約1億2300万円と大きくなっているため、今回の調査報告の課題を整理しながら、経費の問題だけではなく住民にとっての利便性も考えながら、良い方法がないか研究を進めていく。

（西宮正夫委員）土佐清水市のスクールバスにかかる経費は生徒一人あたり年間約55万円ということだが平均と比較するとどうなのか。

⇒（泥谷会長）報告にある他市の状況と比べると高くはなっているが、土佐清水市の場合は通学範囲が広いので、他市と全く同じ状況ということにはならない。

（田村和守委員）運転手不足はさらに深刻化している。バスの利用が減少しているためバス事業を辞めることも検討している。

（小松尚生委員）下川口地区で集落活動センターの立ち上げを目指している。外出支援の部分でデマンド交通の周知や空白地有償運送のドライバーの確保など協力できる部分は一緒に行いたい。